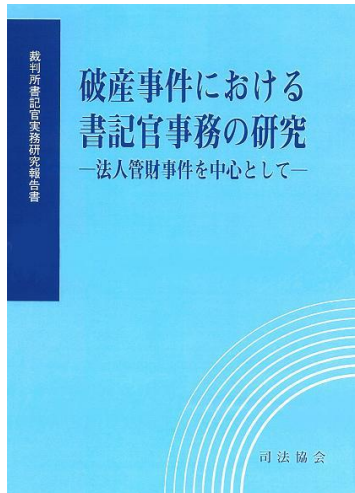


# 破産事件における書記官事務の研究—法人管財事件を中心として—



監修 : 裁判所職員総合研修所  
 定価 : 本体 6,572 円 + 税  
 判型 : A4 判  
 ページ数 : 536 ページ(本文 496 ページ)  
 ISBN : 978-4-906929-15-3  
 発行 : 平成 25 年 5 月

## 内容

破産事件のなかでも管財事件における手続は多岐にわたり、現場の書記官には、その経験ばかりではなく、破産法以外の幅広い知識や多角的な視点からの検討が求められます。現行法が施行されて以降、管財事件の手続全体を通じて、そうした専門的分野の役割を補助する書記官の視点から検討を加えた資料がほとんどなかった中で、本研究報告書は書記官事務にスポットを当てて発表されたものです。

本書では、事務処理の根拠となる法令や通達等を極力明示し、事務処理を行う目的や理由等にも触れるよう意識して記述されています。さらに執務の参考となる書式等も示して理解しやすいよう工夫されており、破産事件を担当する書記官のみならず破産管財人となる弁護士や破産事件を詳しく学ぼうとする方たちにも理解を早めるのに役立つ資料となっています。

## 目次(抄)

序論	第3章 破産債権の確定	第1章 破産手続開始決定後の破産手続廃止(異時廃止)
第1章 研究の目的	第4章 破産債権の届出の取下げ・変更	第2章 同意廃止
第2章 研究の方針	第5章 破産財団の管理並びに換価及び回収に関する書記官事務	第3章 終結
第3章 研究の構成	第1章 破産管財人の行う破産財団の占有・管理に関する書記官事務	第4章 破産手続終了後の諸問題
第1編 破産管財事件における書記官事務	第2章 破産裁判所の破産管財人に対する監督業務に関する書記官事務	第10章 特殊な業態における留意点、工夫例
第1章 受付における書記官事務	第3章 破産管財人の行う破産財団の換価・回収業務に関する書記官事務	第1章 病院・診療所の破産
第1章 破産手続開始前の情報収集	第4章 その他の破産管財人の業務に関する書記官事務	第2章 旅行会社の破産
第2章 事前相談	第6章 財団債権・優先的破産債権の弁済に関する書記官事務	第3章 外国語学校の破産
第3章 破産手続開始申立ての受付	第1章 財団債権の弁済に関する書記官事務	第4章 相続財産の破産
第2章 破産手続開始決定前の書記官事務	第2章 優先的破産債権の弁済に関する書記官事務	第5章 多数の破産債権者が見込まれる破産事件
第1章 開始決定前の審尋・面談等	第7章 債権者集会に関する書記官事務	第6章 債権者申立事件
第2章 保全処分	第1章 債権者集会の種類と各庁の運用	第7章 その他の業態における留意点
第3章 申立ての却下、棄却、移送、回付及び取下げ	第2章 債権者集会の実施と書記官事務	第2編 破産管財事件の担当書記官として知っておくべき関連法規や諸制度
第4章 破産手続開始決定の準備	第8章 配当に関する書記官事務	第1章 牽連破産
第5章 債務者の死亡(自然人の場合)	第1章 配当の種類と各庁の運用	第1章 牽連破産
第3章 破産手続開始決定後の書記官事務	第2章 配当の準備に関する書記官事務	第2章 牽連破産に伴う書記官事務
第1章 破産手続開始決定の効果	第3章 各種の配当に関する書記官事務	第2章 破産管財業務における税務
第2章 破産手続開始決定後に書記官が行うこと	第9章 破産手続の終了に関する書記官事務	第1章 法人管財事件と税金
第3章 封印執行、帳簿閉鎖		第2章 破産管財の税務
第4章 破産手続開始決定に対する即時抗告		第3章 破産手続が訴訟手続に与える影響
第4章 破産債権の届出、調査、確定に関する書記官事務		第1章 訴訟手続の中断とその帰する
第1章 債権の届出		第2章 訴訟に関連する書記官事務への影響
第2章 債権の調査		